

# 肱川

発行  
 肱川村役場  
 1959・10・20  
 編集  
 肱川村教育委員会

## 定例村議会開く

追加更正予算八四六万五千  
 円（一般）他を可決



十月七日招集された定例議会は

1 一般会計追加更正予算  
 2 国保会計

の他、鹿ノ川地区水道事業特別会計・同給水条例等を可決、ついで町制施行にもなう記念行事等について協議散会した。

この結果、一般会計三、四七、八万円、国保九、五九、九万円、水道会計四、八六、六万円、合計四、九〇、〇万円の予算となつた。

### 台風十五号

#### 風水害義捐金

#### 募集について

九月二十六・七日の両日伊勢湾を襲つた台風十五号による風水害は多数の死者、負傷者を出し、家屋耕地を失つた人も莫大な数にのぼり、犠牲者に対しては真に哀悼の情を表するとともに多数の罹災者に対しては、その窮状に対し誠に御気の毒に存じます。ついでには義捐金の募集を行うことといたしましたので村民各位の御同情と御協力により義捐金きよ出方を御願いたします。村役場厚生係が取りまとめをいたしておりますから御送り願います。義捐金は日赤愛媛県支

### 挨拶

長い間大切な教育行政の中心として身に余る重責にあり、種々御協力を得たとを心から感謝致します。

御期待にそうことを得ず多年の懸案であります中学校統合を中心と致します村教育の百年の大事業を果し得ないまゝ退職することとなりまして。

例えば、昭和三十一年教育委員会等で統合を決議し、以来いろいろな形で統合推進のため努力したつもりでしたが、何分微力不明の為初期の目的を達成し得な

かつたことは、慚愧に耐えませ

この上は村理事者の英断、教育委員会、村民各位の深い御理解と教育愛こそ統合を可能にする要因であり、私達もそれに唯一の期待をかけるわけですが、私達が考える限り、本村の教育を前進させるためには、第一段階として中学校を統合することが不可欠の条件であり、それに伴い漸進的に小学校施設、幼児教育施設、高校施設、社会教育施設と夫々の内容等何時の時代でも、教育という仕事には限りなく行くと広がりをもつていくわけであり、本村が今後町制をとり、益々発展するための前提としても、教育が一歩飛躍することを望まざるにはおられません。

私達も退職はいたしました。が決して村の教育や中学校の統合を良い加減に考えているわけでありません。退職前も今も、そしておそろく将来も、何とかして教育の限らない前進を、特に中学校の統合を祈らずには居れません。

野にあつても、どこにいても、その為には最大限の努力をする覚悟しております。

非力にもかかわらず御協力をいたさざりましたことを重ねてお礼申し上げますと共に、私達の村が教育が発展することを祈つて挨拶と致します。

- 香川 亀久次郎
- 堀内 重吉
- 椎野 筆清
- 和氣 清

## ブラジル移住 その一

戦前の移住は海外雄飛とか國威発揚とか力押しで行くような印象が強かった。

だが今行われている移住は、過剰人口のはけ口としてよりももつと積極的な意味をもつてい

る。せまい国に住んでじり貧になるよりも自ら求めて新天地を拓く。

去る九月渡伯した大越君、現在研究している希望者等からみた海外移住の実情はこんなものです。

移住しようとする人は中流の農家が多い、今のまゝ、どうかやつてはいける。しかし、これから子供を一人前にするには、今のまゝではむづかしい。

どうせ苦勞するなら発展と可能性のある土地で、これが移住を望む理由である。

家族に相談してみると多少の不安をのべる人はあるが異論はほとんどない。

「しかし、「今になつて何を好んで地所へ」と親類の反対があつたが家族と一しよに苦勞してみようと言う気持ちに励まされてときふせた」と言う話もある。ある親類の人の話に「最初から反対と言う気はなかつたが、余り積極的に賛成すると追い出す様に思われて」と困つてい

る人もある。

と言うことが一つ、財産処分がむづかしいことが一つ、この二つが最も大きい悩みである。幸い第一の問題は前広く相談に訪れる人が増えて来たので次第に解消すると思われるが第二の問題は法的制約と金額が大変高額になる等のため仲々これと言つて簡単に解決できる方策も見出し難い、幸い大越君の場合は近くの理解ある買受者のため解決したが今後共この問題を解決して行くには全村民の理解とその上に立つた強力な対策が必要であることは言うまでもない。

移住しようとする人は誰も明るい夢をもっている。そして肱川村と南米とのかけ橋になる気持だど力強く語つて居る。近い将来二、三男対策上南米が大きいクローズアップされて来る事は間違いない。夢と詩にみちた南米とは言え村民子孫安住の地を建設するためにはまだ、数年の歳月と内地で理想もできない苦勞もあるであろう。

移住される人が立派にこの事業を成しとげられる様、全村民の理解と協力を願うと共に心からの健闘を祈つてやみません。

鹿野川肉牛

共同出荷所落成

かねてより新農村建設対策事業の一環として、畜牛の改良増殖と将来に備え共同出荷への体制を整えて行くため鹿野川の川に建設していた肉牛共同出荷所は鹿野川市場の移転も合せこの程完成する八日竣工式を実施開所。

米の品質不良は格下によつて農家の収入減となるばかりでなく、買入後の保管、運送及び売却の各段階において損耗を招き当地方産米の格付にも大きく影響します。将来に備え当地産米の名産をあげるためにも、全農家が協力してもう一度乾燥と調整が充分であるか確かめて売りましよう。

産米改善に  
 御協力下さい

村の人口動態

出 三四・九・三〇現在  
 生

大谷 堀内 義一  
 宇和川 池田 満明  
 中津 藤本 正明  
 死

山島坂 西 チサト  
 宮田 嘉蔵  
 大越 タツミ  
 中居谷 二宮 イセノ

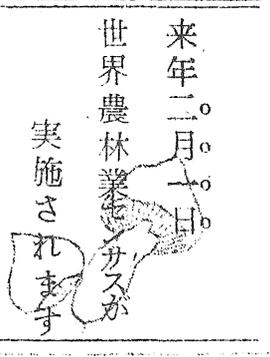
男 三、九六三  
 女 三、七一一  
 計 七、六七六  
 世帯 一、四三一

売るのも  
 買うのも  
 メートル法

本月の出来ごと

- 九月
- 一〇日 農事研究グループ代表者会
  - 一日 木炭生産組合評議員会
  - 二日 海外移住懇談会開催
  - 二日 上大和部落集会所落成式挙行
  - 五日 水稲畝川村一撈作会
  - 五日 第一次審査実施
  - 六日 大谷地区老人会
  - 六日 共同募金委員会
  - 八日 教育委員会初会合
  - 九日 村常会
  - 二一日 郡内厚生係長会
  - 二二日 高橋英吉代議士米庁
  - 二四日 秋分の日・中富谷家畜品評会開く
  - 二五日 宇和川中学校にてレントゲン検診行ふ
  - 二六日 鹿野川地区水道関係役員会
  - 二六日 帝人従業員募集選考を行う。鹿野川地区レントゲン検診
  - 二七日 岩谷地区家畜品評会文化・総務・観光特別委員会開く
  - 二八日 鹿野川ダム洪水試験に対する注意を関係部落に行う
  - 二九日 農業委員会開拓組合の会合行ふ
  - 二九日 ツ反注射を行う
  - 三〇日 中津にて家畜集団検診施行・中野小学校にて狩猟講習会開催
  - 一〇月 一日 経済・建設・文化・

教育委員会・宇和川大谷小中学校トラコ  
区ツ反検診・BCG  
接種実施・自衛隊予備試験実施  
三日 大谷小中学校運動会  
五日 道路愛護週間村内各地区路線清掃  
六日 予子林運動会  
七日 定例村議会  
八日 大谷畜産品評会  
八日 鹿野川肉牛共同荷所竣工式  
九日 鹿野川畜産品評会  
鹿野川にて職域相撲大会開く



来年二月一日を期して世界農林業センサスが実施されることとなりました。この調査は国連の提唱により行われるもので「経済統計に関する国際条約」に基づいて十年毎に行うことが定められており、世界農林業生産を安定し発展せしめるため国際比較の基礎となる統計資料の作成を目的として世界百有余カ国が参加して行一大農林業基本調査で、わが国では最も大きくそして総合的なものです。

又この調査はわが国の農林業の実態を統計的に正しく把握し農政の進路を定め諸農業対策を樹てるため必要な基礎的統計資料を作成することになっていきます。

この統計の結果は個人毎には公表できませんが部落単位の数字は公表し、今後の農林業振興対策の基礎資料として使用するものとされています。今までの統計と比べれば兎角過少な数字しかで来なかつたのですが、今後はこの様な事がかえつて農家の不利を来す様なことも起きて来ますので正確な統計資料が出来、有効な対策を樹てる事が出来るよう皆さんの協力をお願い致します。

建築大工 板金工

技能検定受験 申請受付

技能検定は労働者の技能を測定して公証しようとする国家検定制度であつて、職業訓練法によつて創設されたものであります。技能検定の目的は、技能労働者の誇りと社会的地位の向上を図り、ひいては我が国産業における技能水準の向上を通じて産業の発展に寄与しようとするものであります。

前記の主旨に基づいて左記の通り第一次試験が行われますから希望者は受験されるよう御奨め致します。詳細は公共職業安定所又は土木係へ御問合せ下さい。

一、受付期間 十月二十一日より十一月三十日まで  
二、受付場所 県職業安定課  
三、試験日 昭和三十五年一月十日

造林補助金と苗木について

造林補助金と苗木について

植林時期が近よりました。十一月より二月末日までに植林を是非行つていただきます。かねばなりませんが、三十五年より造林補助金と苗木の關係において今まで行つてきた事と要領

が變つておりますのでお知らせ致します。

一、造林補助金の交付対象  
三四年(現在)までは優良苗木であり、森林組合取扱い(県の保証票がついている)苗木は優先的に補助金が交付され、上記以外の苗木で造林された造林地に対しては交付額の率が下げられていたが、三五年より造林補助金交付規程の交付対象第二条の造林樹種は「すぎ、ひのき、まつ類及びびくぬぎ」とし、種子は優良母樹林から採取したものとする。とある事を重要視されて、優良苗木で造林されている事を県が認めない限り補助金の対象地とならない。即、県が優良苗木と認める苗木は、森林組合直営養成苗木、県指定の業者生産苗木を森林組合が取扱

二、優良苗木について  
良い苗木生産については、県、県森連等の指導のもとに良い苗木の生産に當つて居りますが、三五年度造林補助金より森林組合直営養成苗木及び、県指定業者生産苗木で組合が取扱、以外の苗木は補助金が出ない事となり、組合は苗木を優良苗木養成に當つて居り今秋来春の苗木も植付予定の方は申し込み下さい。

県森連木材市売相場

一才当り畝川林道産値 十月五日

長さ	径	寸上	す	ひのき	ま
14 尺	40 尺	上上		26.98	28.28
	60 尺	上上		28.28	29.58
13.2 尺	15 尺	下上	41.23	41.90	
	20 尺	上上	39.93	40.60	
	30 尺	上上	41.90	41.23	
	40 尺	上上	32.16	38.64	
	60 尺	上上	32.82	39.93	
10 尺	25 尺	下上	30.22	30.22	
	30 尺	上上	30.97	32.16	
	40 尺	上上	32.82	37.35	24.39
	55 尺	上上			25.69
7 尺	20 尺	上上			19.00
	40 尺	上上			21.00
6.6 尺	2.5 尺	下上	17.91	17.91	25.50
	3.0 尺	上上	14.02	15.32	27.00
	60 尺	上上	25.69	29.58	27.00
6 尺	30 尺	上上	10.14	11.44	15.50
2.0 尺	50 尺	上上	39.29	42.53	12.50

本表は市売の中値で是より良いものも亦安いものもあります。特に全般に上昇気味の様です。